

# 計機健保の平成24年度決算報告

## 経常収支で5年ぶりの黒字決算 積立金の積増しで今後に対応

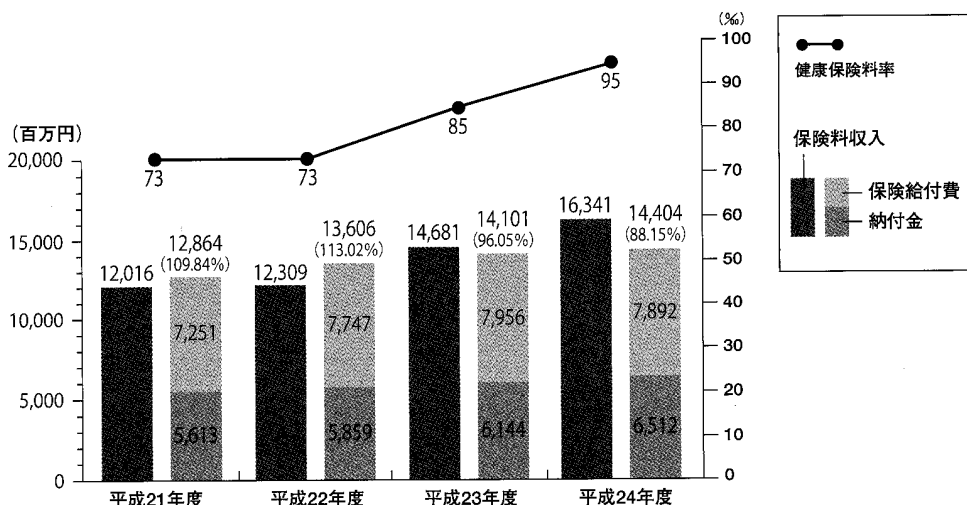
平成24年度事業報告および収支決算が、6月18日(火)に開催された第106回組合会において、承認されました。以下に収支決算の概要をご報告します。

(本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)



第106回組合会のもよう

図 保険料収入・保険給付費・納付金等の推移



\* 保険給付費・納付金の合計額の ( ) 内は保険料収入に対する割合。

### ●24年度事業

#### 健診をさらに充実

24年度は、昨年度に引き続き健康管理事業に重点を置き、人間ドックにPSA検査(男性対象)を導入するなど、さらに健診の充実を図りました。

### ●24年度収入支出決算

#### 健康保険 (一般勘定)

○ 収入総額	171億4400万円
○ 支出総額	159億7000万円
○ 収支差引額 (決算残金)	12億3700万円
* 予算総額	168億3200万円

#### 収入 保険料収入は16億6100万円増

24年度の健保財政は、納付金等の増大により、9割の健保組合が赤字予算となるなか、当組合は昨年引続き保険料率を上げました。

加入事業所の組合間異動等により、被保険者数の年間平均は、前年度決算比378人減の3万1492人、標準報酬月額同比451円減の37万3121円でしたが、保険料率を95%としたことにより、保険料収入は同比16億6000万円増の163億4100万円となりました。

#### 支出 納付金等がさらに増加!

昨年から伸び率が低下傾向にあった保険給付費は、医療費が減少したことなどから、前年度決算比6400万円減の78億9200万円となりました。その一方で、納付金等は、3億6700万円増の65億1200万円となっており、今まで以上に大きな伸びを示しています。また、健診の充実をはかった疾病予防費等を中心とする保健事業費は、同比2500万円増の6億300万円となりました。